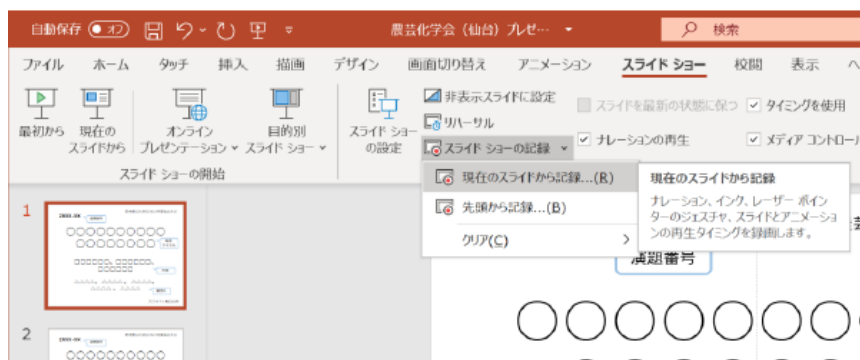


プレゼンテーション動画の作成について

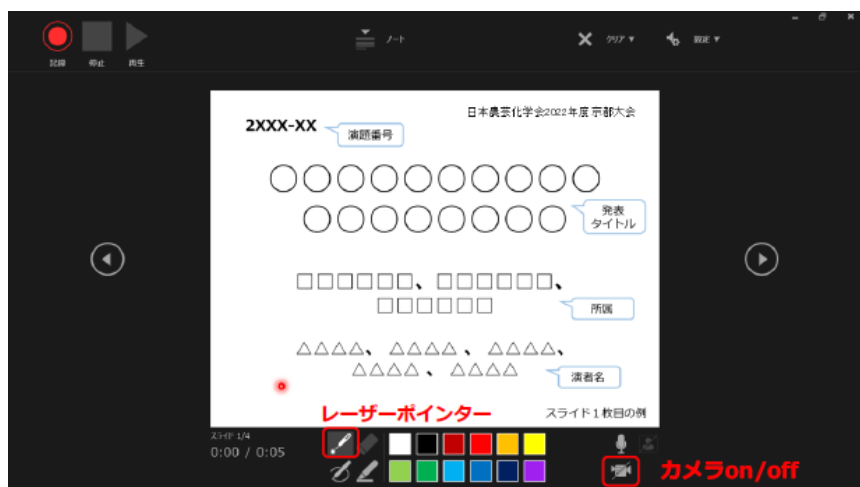
動画作成法の一例として、パワーポイントを用いた方法を以下に示しています。これは、あくまでも一例ですので、パワーポイントを用いた方法に限定せず、自由な発想で魅力的なプレゼンテーション動画を作成してください。なお、プレゼンテーション動画の再生時間は 5 分以内とし、動画容量は 100 MB 以下にしてください。

Windows PowerPoint 2016 以降のバージョン

- ① スタートメニューから[設定]、[システム]、[サウンド]の順に選択し、入力デバイスが音声入力用のマイクになっていることを確認してください。
- ② パワーポイントのスライドショーのタブで、「ナレーションの再生」「タイミングを使用」「メディアコントロールの表示」のすべてにチェックが入っていることを確認してください。
- ③ スライドショーのタブから「スライドショーの記録」をクリックします。



- ④ スライドショーの記録画面に切り替わります。右下のアイコンで、マイクとカメラのon/offを設定します。カメラをoffにするとファイル容量を節約できます（カメラをonにすると発表者の顔がスライド右下に映ります）。レーザーポインターをクリックすると画面に赤丸が表示されます。レーザーポインターで説明したい部分を指しながら音声を入力してください。



- ⑤ 「記録」ボタンをクリックして録画を開始し、「停止」ボタンでストップします。「再生」ボタンで録画内容を確認できます。録画をやり直したい場合は「クリア」ボタンをクリックすると、スライド単位で記録を消去できます。

画面右端のボタンをクリックすると次のスライドに進みますので、以降も同様の操作でスライドに音声を入力してください。音声が入力されたスライドには、右下にオーディオアイコンが挿入されます。



- ⑥ 全てのスライドに音声を入力したら、動画ファイル（MP4ファイル）を作成します。パワーポイントのファイルタブから「エクスポート」、「ビデオの作成」に進み、画質を選択します。下の例では、HD720pを選んでいますが（ファイルサイズが100 MB以下になるよう注意して適当な画質を選択してください。ファイルサイズの確認方法は手順⑧に記載しました）。



- ⑦ 下のメニューが「記録されたタイミングとナレーションを使用する」になっていることを確認し、「ビデオの作成」をクリックします。動画への変換には時間がかかります。ウインドウ下部のステータスバーが100%になったら完成です。



- ⑧ 作成されたMP4ファイルを右クリックして「プロパティ」を選ぶと、ファイルサイズが表示されます。100MB以下であることを確認してください。

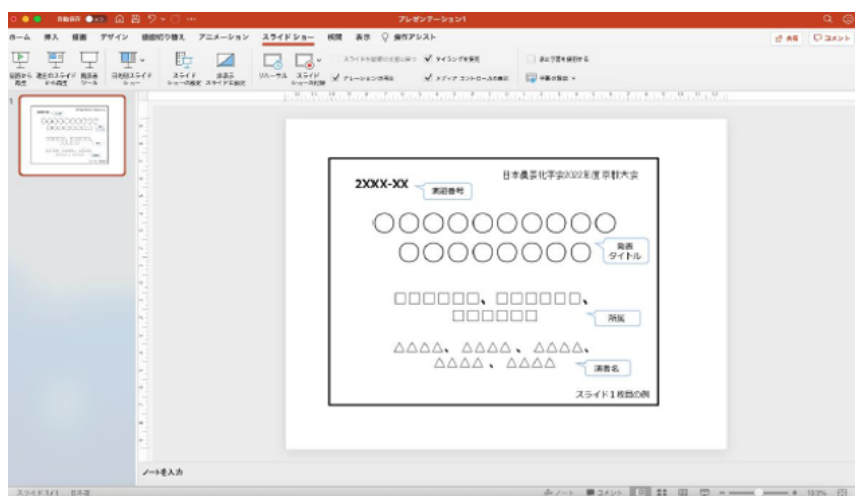
PowerPoint for Mac 16.46

Mac の場合でも基本的には Windows と作成手順は変わりませんが、多少異なる点がありますので、下記を参考に MP4 ファイルを作成ください。

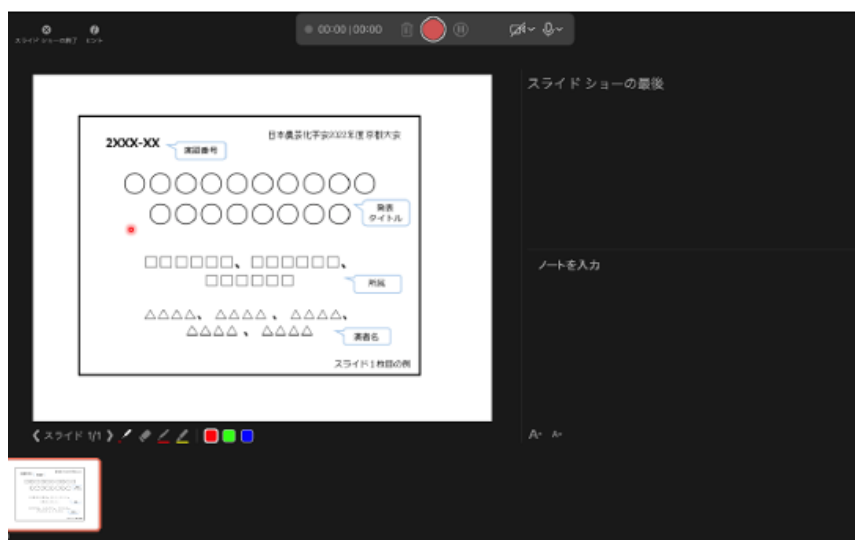
- ① 「システム環境設定」にある「セキュリティとプライバシー」の「プライバシー」からパワーポイントにマイク使用を許可します（Microsoft PowerPointにチェックを入れる）。
※この操作をしないと録音されません。



- ② パワーポイントの[スライドショー]のタブで、[ナレーションの再生]、[タイミングを使用]、[メディアコントロールの表示]のすべてにチェックが入っていることを確認してください。
- ③ [記録]から[スライドショーの記録]を選びます。



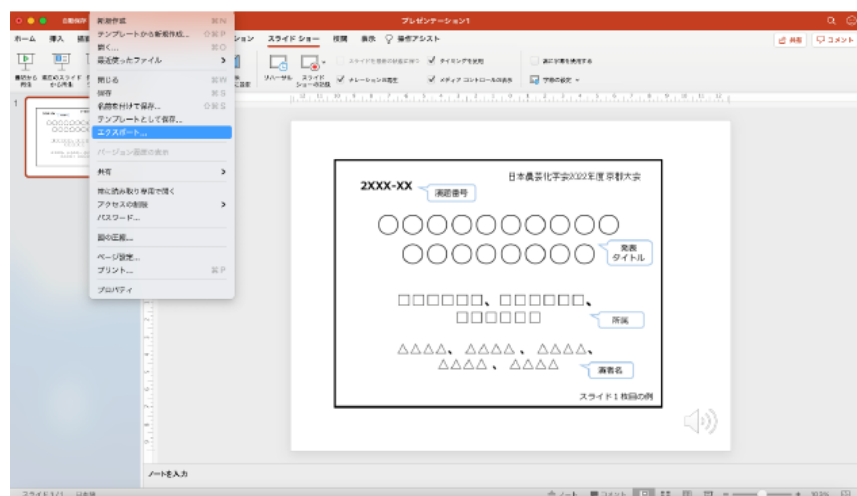
- ④ スライドショーの記録画面に切り替わります。画面左下〈スライド〉の横のアイコンからポインターを選択してください。録画ボタン（上部中央赤丸）を押すと、カウントダウン（3秒間）の後、録画が始まります。



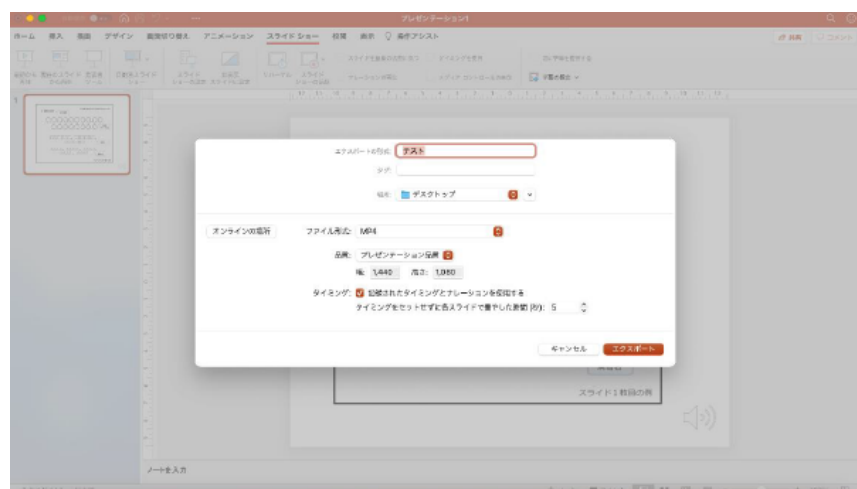
※初めて使用する場合は、以下のメッセージが出ることがあります。ファイル容量削減のためにも、基本的に[許可しない]を選択してください。



- ⑤ 録画終了後、[ファイル]から[エクスポート]を選んでください。



- ⑥ 100 MB以下になるように画質を選択し、[エクスポート]をクリックしてMP4ファイルを作成します。



- ⑦ 作成されたファイルを選択して右クリックするか、選択した状態でツールバーの[ファイル]から[情報を見る]を選ぶと、ファイルサイズを確認できます。100 MB以下であることを確認してください。

